記者発表資料

令和5年10月25日
国土交通省　東北地方整備局
磐城国道事務所

国道6号小名浜地区（林城～飯田）の道路計画検討に関する意見聴取を実施します。
～みなさまのご意見をお聞かせください～

国道6号小名浜地区（林城～飯田）における道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が日ごろ感じている道路交通や地域の課題、対応方針案を検討する上で重視すべき事項等について、ご意見をお伺いする**アンケート調査及びヒアリング調査**を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート調査について

〇対象区間：国道6号小名浜地区（林城～飯田）
〇調査期間：令和5年10月26日（木）～令和6年1月20日（土）
〇調査内容：上記対象区間の道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が日ごろ感じている道路交通や地域の課題、対応方針案を検討する上で重視すべき事項等について、意見を把握するために実施します。

調査方法	実施方法	実施期間
インターネット（WEB）	磐城国道事務所ホームページに掲載します。 https://www.thr.mlit.go.jp/iwaki/jigyo/ank.html	**令和5年10月26日(木) ～ 令和6年1月20日（土）**
返信用はがき	① 別紙の調査対象地域にお住まいの方に、郵送にて配布します。 ② 別紙の対象区間を利用する事業者へ郵送配布します。 ③ 各自治体の公共施設等にアンケート調査票と回収ボックスを設置します。 （設置箇所は別紙参照による）	**令和5年12月6日（水） ～ 令和6年1月20日（土）**

ヒアリング調査について

〇調査期間：令和5年10月26日（木）～令和6年1月20日（土）
〇対象：別紙の対象区間の沿線地域及び広域的な利用が考えられる地域の自治体、団体、事業者。
〇調査内容：上記対象区間の道路計画の検討にあたり、業務等で道路を利用される際に感じている道路交通や地域の課題、対応方針案を検討する上で重視すべき事項等について、意見を把握するために実施します。
※なお、対面での聞き取りを予定していますが、調査票送付と電話聞き取りによる対応も可能です。

【発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市広報広聴課】

【お問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
TEL 0246-23-2211(代表)　E-mail：thr-iwaki01@mlit.go.jp
副所長（改築担当）　宍戸　英雄　（内線　２０４）
調　査　課　長　佐藤　輝明　（内線　４５１）

別　紙

●アンケート調査票・返信用はがきの配布

〇調査対象地域にお住まいの方

・対象地域：いわき市小名浜地区、平地区、勿来地区、好間地区、内郷地区、常磐地区

・配付方法：いわき市小名浜地区は、郵送にて全戸配布します。
上記以外の地区は、郵送にて抽出配布します。

・配布予定日：１２月６日（水）～

〇上記以外の方

下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅等にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置します。

また、インターネットによる回答も可能です。

●アンケートの回答方法

①インターネットによる回答

検索サイトや スマートフォンから

インターネットによる回答を行う場合は下記の二次元コードか、「磐城国道事務所」で検索し、下記のバナーからアクセスしてください。



磐城国道事務所のホームページから

詳しくは「東北地方整備局　磐城国道事務所のHP」へアクセスしてください。



アンケートページURL：https://www.thr.mlit.go.jp/iwaki/jigyo/ank.html

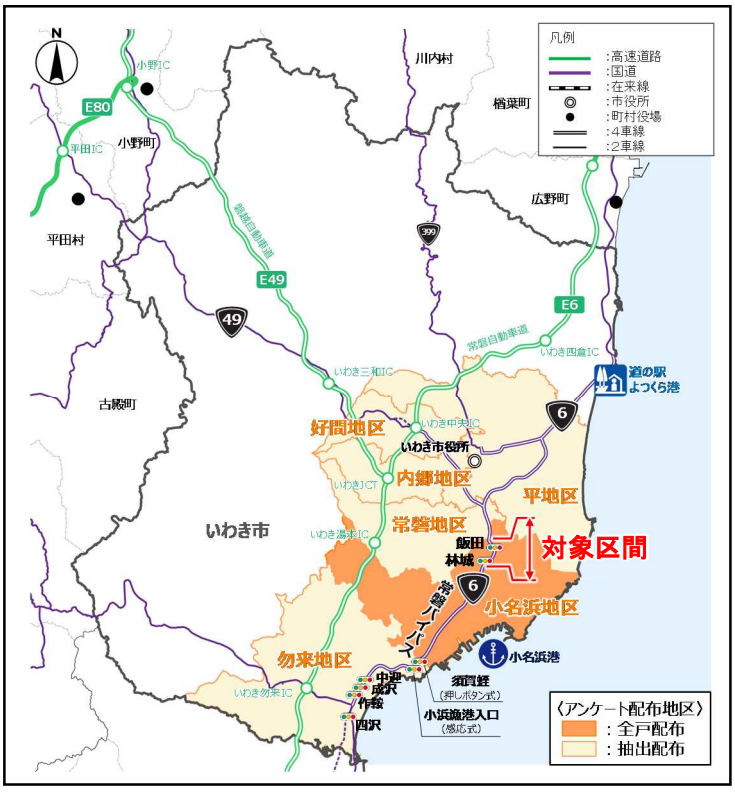
②返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅等の回収ボックスへ投函してください。

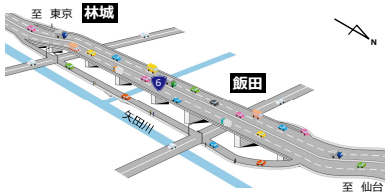
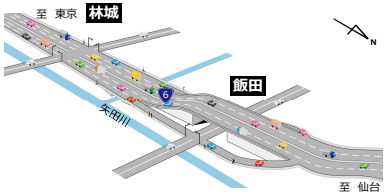
【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】

	設置場所
国土交通省	・磐城国道事務所 ・平維持出張所
福島県	・いわき合同庁舎
市役所	・いわき市役所 （本庁、小名浜支所、勿来支所、常磐支所、四倉支所、遠野支所、小川支所、三和支所、田人支所、川前支所、久之浜・大久支所、好間支所、内郷支所）
道の駅	・道の駅 よつくら港 ・道の駅 ならは
その他	・いわきトラック会館

【調査対象地域及び対象区間】



対応方針案（２案）の比較

			第1案 連続高架案	第2案 片側高架+平面拡幅案
			２つの交差点を連続して高架とする案 （高架部：4車線（側道部：2車線））	林城交差点を拡幅、飯田交差点を高架とする案 （平面部:6車線、高架部:4車線（側道部:2車線））
		構造イメージ図		
政策目標	主要幹線道路としての円滑性確保	交通容量の確保、信号交差点の削減	・信号交差点の高架化により、交通の流れがよくなり、渋滞が緩和する。 ・信号交差点の高架化により、信号待ちの時間が無くなり、走行の円滑性が向上する。	・飯田交差点の高架化及び車線拡幅により、交通の流れがよくなり、渋滞が緩和する。 ・ただし、林城交差点の信号が残るため、信号待ちの時間があり、走行の円滑性の向上は限定的である。
	安全な交通環境の確保	安全な交通環境	・渋滞の緩和により、渋滞が原因となる交通事故の減少が期待される。 ・飯田交差点の高架化や交差点北側の坂が緩やかになることにより、追突事故の減少が期待される。	・渋滞の緩和により、渋滞が原因となる交通事故の減少が期待される。 ・飯田交差点の高架化や交差点北側の坂が緩やかになることにより、追突事故の減少が期待される。 ・ただし、林城交差点の信号が残るため、渋滞が原因となる交通事故の減少は限定的である。
	円滑な物流ルートの確保	物流ルートの速達性の向上	・渋滞の緩和により、物流ルートの速達性が向上する。	・現状よりも渋滞が緩和され、物流ルートの速達性が向上する。
	救急搬送環境の確保	救急搬送の速達性、安定性の向上	・渋滞の緩和により、救急搬送の速達性・走行の安定性が向上する。 ・飯田交差点北側の坂が緩やかになるため、救急搬送の走行の安定性が向上する。	・現状よりも渋滞が緩和され、救急搬送の速達性・走行の安定性が向上する。 ・飯田交差点北側の坂が緩やかになるため、救急搬送の走行の安定性が向上する。
配慮すべき事項	自然環境	自然環境の改変	・高架区間が一定区間連続しており、高架下を道路空間として活用できるため、沿道の桜堤への影響が小さい。	・高架区間が短いため高架下を道路空間として活用できず、道路拡幅等に伴い用地買収が必要となるため、沿道の桜堤への影響が大きい。
	沿道アクセス	沿道施設へのアクセス性	・区間全体を高架としており、沿道施設には側道を経由してアクセスする必要があるため、現況よりもアクセス性は下がる。	・沿道施設には直接アクセスできるため、アクセス性は現況と同等。
	用地への影響	沿道施設の用地への影響	・高架区間が一定区間連続しており、高架下を道路空間として活用できるため、沿道施設の用地への影響が小さい。	・高架区間が短いため高架下を道路空間として活用できず、道路拡幅等に伴い用地買収が必要となるため、沿道施設の用地への影響が大きい。
	沿道環境への影響	騒音・振動による影響	・工事期間中は、高架橋脚の基礎工事に伴い、騒音・振動に配慮する必要がある。 ・供用後は、高架区間では遮音壁等により騒音対策を実施しやすい。	・工事期間中は、高架橋脚の基礎工事や拡幅部の地盤改良工事に伴い、騒音・振動に配慮する必要がある。 ・供用後は、高架区間では遮音壁等により騒音対策を実施しやすい。
	経済性	整備に関する費用	約350～410億円	約270～330億円



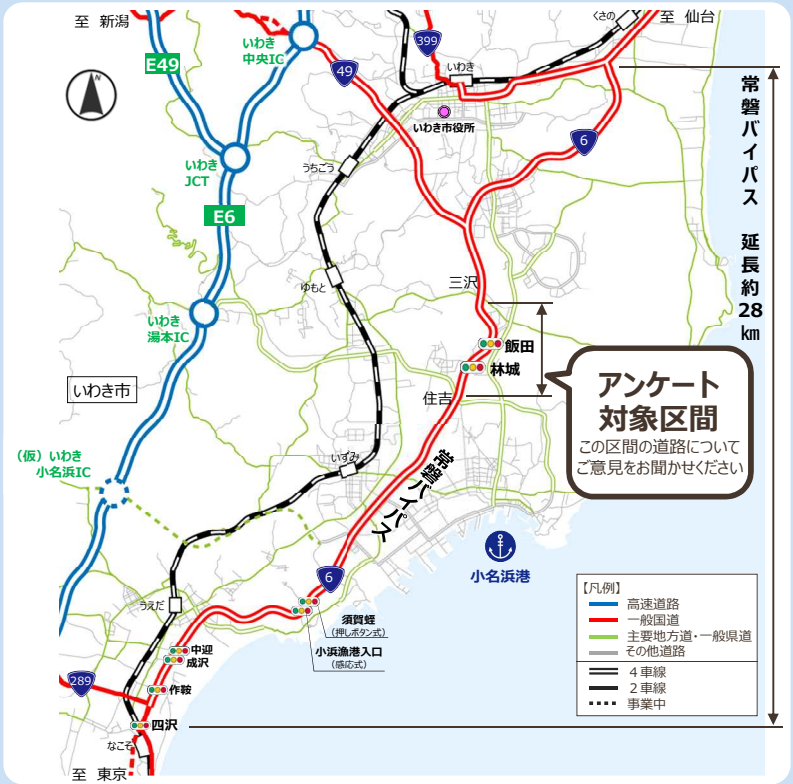
みなさまのご意見をお聞かせください！

国道6号 小名浜（おなはま）地区（林城～飯田（りんじょう～いいだ））
道路計画検討に関するアンケート調査

全5問（約4分程度）

- 国道６号「常磐バイパス」は、いわき市内を南北に通る延長約28kmの道路です。昭和41(1966)年度に事業化し、平成11(1999)年度に全線２車線で供用され、平成29(2017)年度に全線４車線化されました。
- 沿線エリアでは工業団地の造成や企業の立地など地域開発が進み、現在では東北有数の工業地帯となっています。また、いわき市内の観光周遊、救急車による搬送、さらには、日常の通勤・通学など、様々な場面で常磐バイパスが利用され、地域活動に不可欠な存在となっています。
- 常磐バイパスは、信号交差点が少ないため走行しやすい道路環境となっていますが、一部区間では朝夕の時間帯を中心に著しい渋滞が発生し、地域の大きな課題となっています。
- 本アンケートは、対象区間（国道６号 小名浜地区（林城～飯田））の課題を解決する道路計画検討にあたり、皆様が日ごろ感じている道路交通の課題や、対応方針案を検討する上で重視すべき事項等について、ご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはございません。



今回のアンケートと道路計画の流れ

- ・地域や道路交通の現状と課題の整理
- ・政策目標案の設定
- ・対応方針案の検討

今回

アンケート
- ・道路交通・地域の課題把握
- ・対応方針案に対する意見の把握

対応方針案の決定

お問い合わせ
国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所 調査課
TEL 0246-23-0963 Email thr-iwaki01@mlit.go.jp
（平日 8:30～17:15）

アンケートのご回答は 令和６年１月２０日(土) までにお願いします。

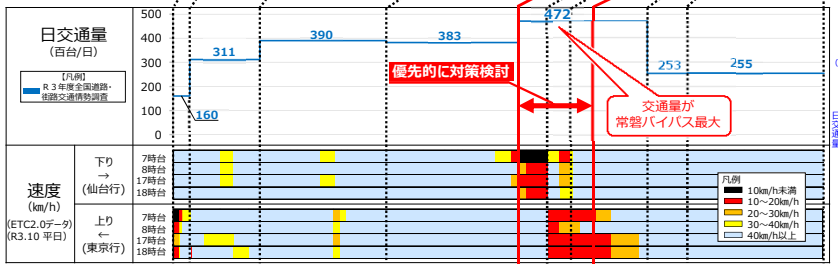
対象区間が抱えている課題と対応方針の考え方

HPでさらに詳しく紹介中!!

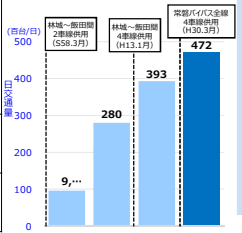
対象区間の交通状況

- 常磐バイパスの整備が進むにつれて対象区間の交通量は増加しており、現在では常磐バイパスにおいて最大の１日あたり約47,200台が通行しています。
- 常磐バイパスの主要交差点は立体化されていますが、小名浜地区の林城交差点と飯田交差点は平面で交わる信号交差点のため、交通の流れが阻害されて、朝夕の時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生しています。





▼対象区間の交通量推移



出典：全国道路・街路交通情勢調査
(S60,H11,H17,R3年度)

対応方針の考え方

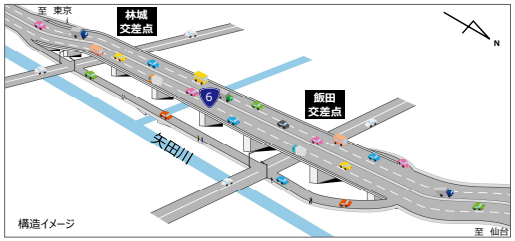
- 対応方針を検討する上で重視すべき事項について、以下の9項目を考えています。

政策目標
- 主要幹線道路としての円滑性確保
- 安全な交通環境の確保
- 円滑な物流ルートの確保
- 救急搬送環境の確保

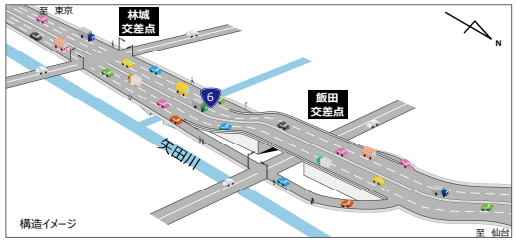
配慮すべき事項
- 自然環境
- 沿道アクセス
- 用地への影響
- 沿道環境への影響
- 経済性

地域の課題解消のため、**２つの対応方針案を立案しました**

案１ 連続高架案
２つの交差点を連続して高架とする案です



案2 片側高架＋平面拡幅案
林城交差点を拡幅、飯田交差点を高架とする案です



対象区間が抱えている課題

A 主要幹線道路としての円滑性低下

- 信号交差点が短区間で連続し、また、国道6号を直進する交通や市道から流入する交通も多いため、混雑しています。
- 信号待ちの時間により、走行の円滑性が低下しています。

⇒信号交差点の連続により慢性的な渋滞が発生し、スムーズな走行ができません。

▼対象区間の渋滞状況

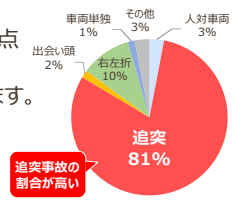


B 県内平均を上回る事故危険性

- 事故の危険性が県内の国が管理する国道交差点より高く、県内平均の約３～４倍です。
- 渋滞や急な坂が原因の追突事故が多発しています。

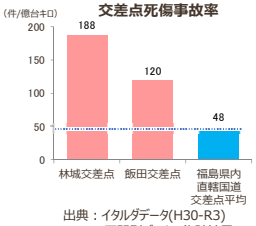
⇒ 県内平均を上回る事故危険性があり、安全性が低下しています。

▼対象区間の事故内訳



出典：イタルダデータ（H30-R3）

▼対象区間における交差点死傷事故率



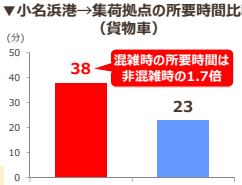
出典：イタルダデータ(H30-R3)
区間別データの集計結果

C 物流の速達性低下

- トラックが渋滞を避けるため、輸送ルートやスケジュールの変更を余儀なくされています。
- トラックが渋滞に巻き込まれ、貨物の輸送に時間を要しています。

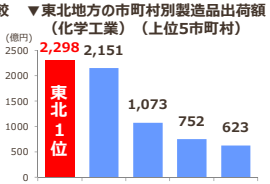
⇒渋滞により、円滑な物流が確保されていません。

▼小名浜港→集荷拠点の所要時間比較（貨物車）



出典：ETC2.0プローブデータ
（R4.10月平日）

▼東北地方の市町村別製造品出荷額（化学工業）（上位5市町村）



出典：R3経済センサス

D 救急搬送の速達性・安定性低下

- 渋滞により追越が困難なため、救急車が病院に着くまでの遅れや、所要時間にばらつきが生じています。
- 救急車が急な坂のためブレーキを踏む回数が多くなり、搬送中の患者への負担が生じています。

⇒渋滞等により、救急搬送の速達性や走行の安定性に支障が生じています。

▼救急車の走行状況（混雑時）



H30.10.18（木） 6:45～8:30 飯田交差点から仙台方面を撮影

アンケートの答え方

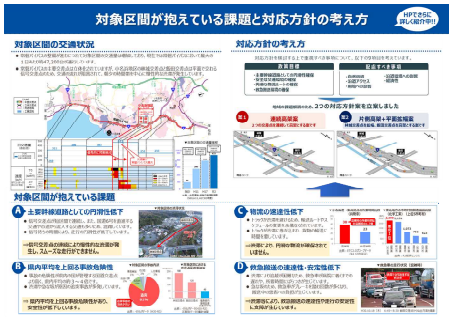
STEP 01 アンケートの対象区間を確認する

＼ 対象区間です ／



STEP 02 アンケート対象区間の道路の課題・対応方針を確認する

＼ 同封資料（A3 二つ折り）の中面です ／



STEP 03 Web または はがき で回答する

※お一人様1回のご回答をお願い致します。

回答は手軽なWebがおすすめ！

Webで回答する

以下のどちらかの方法でお答えください。

① スマートフォンから

スマートフォンで
右の二次元コードから
アクセスしてください。
回答フォームが開きます。



② パソコンから

「磐城国道事務所」で検索し、
“国道６号 小名浜地区
（林城～飯田）”の
バナーをクリックしてください。



はがきで回答する

同封の はがき回答票 に付いているはがきに回答をご記入いただき、
以下のどちらかの方法で返信してください。

＼ はがき回答票はこちらです ／



▲地域のみなさま用



▲事業者用

① お近くの郵便ポストに投函

② 磐城国道事務所、いわき市役所、道の駅などの回収ボックスに投函



いわき観光情報ナビゲーター
フラおじさん
Hula-Ojisan

みなさまのご意見お待ちしています。
ご協力よろしくお願いします。